

社内教育

自主自立をキーワードにした教育・啓発

企業経営、特に環境経営のためのベースはまず「人づくり」であると考えています。人の意識が変わらなければ、実際の行動も変わりません。2000年を「人づくり再出発の年」とし、実践の場として2000年7月にクリモト淡輪研修センターを建設。栗本人材センター(株)(教育センター)が、綿密な社員教育プログラムの策定に当たっています。

従来の研修内容は、階層別、職種別、自己啓発、その他(OJTなど)に分けて必須形式の一律型教育でしたが、1999年度からは中堅社員研修に6つのテーマ(コスト、論理的思考、マーケティングなど)から自由に選ぶ選択型を取り入れ、当社の基本姿勢である「自主自立」にこだわった内容としています。

環境教育・啓発が必須科目

「環境教育・啓発」については必須科目とし、新入社員、中堅社員、管理職研修などのすべてにおいて受講を義務づけています。1999年度の地球環境プログラムの受講累計数は323人で、環境管理部による講義形式をとっています。内容は、地球環境問題の現状から、環境ISOなどの誕生の過程、当社の環境活動の取り組み、及び今後の環境活動に至るまで、幅広く全受講者の意識の共有化を図っています。



◆淡輪研修センターの外観と研修風景



◆1999年度に実施した環境教育・啓発活動

開催日時	内容
1999年4月26日	大阪府主催ISOまるごとセミナー参加
5月	環境月間ポスター配布
6月11日	環境シンポジウム参加
6月17日	今日からグリーン購入セミナー参加
6月24日	環境月間講演会実施
9月30日	環境法と条例セミナー参加
2000年2月28日	環境ISOセミナー参加
2月29日	低コストで進める環境改善セミナー参加

また、環境資格取得に関する推進も積極的に行い、今年度は公害防止管理者資格を17名が取得。在籍者累計で92名となりました。2000年度は、事業所の教育担当にあたる環境リーダーの育成にも、さらに力を入れていく計画です。

また、リーダーとしての意識を高めるために、社外の講演会、社内学習会などにも、積極的に参加を促しています。

社内報での啓発活動

毎月発行している社内報「クリモト」(発行部数5,600部)でも掲載、環境の啓発につながる特集をしています。1999年度の主な内容としては、「何故環境問題なのでしょう(4月号)」「緊急警報、地球が危ない!(7月号)」「はじめましょう、グリーン購入!(9月号)」などを紹介しました。



◆社内報「クリモト」の環境コーナー